

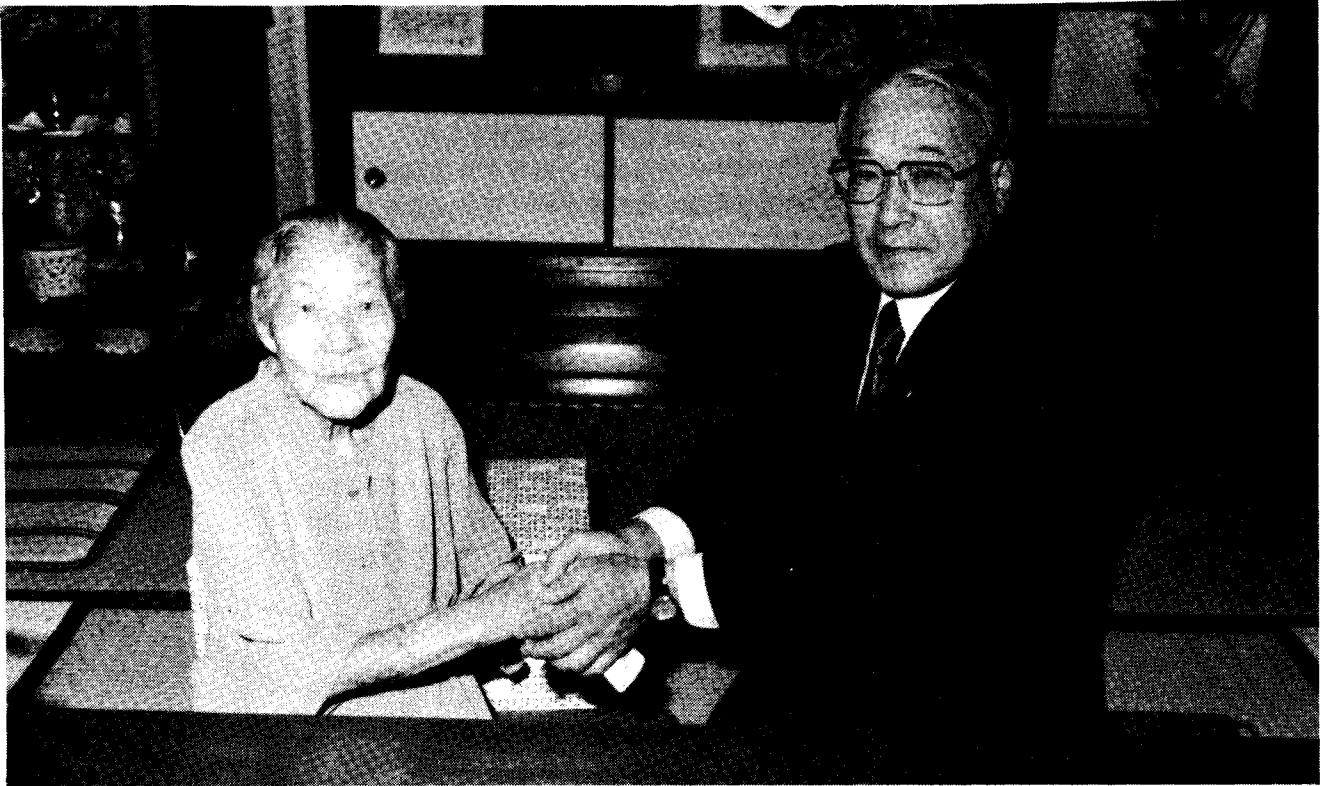
# 広報あかけ

# 10

No. 333

■発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集/総務課文書広報係

☆町の人口 ☆人口10,184(+6) 男4,834(+6) 女5,350(±0) 世帯合計3,452(-9) 平成2年8月末日現在 ( )は前月との比較です



## 敬老会

10月15日(月)11時から

今年1191人(男447・女744人)



町民会館で

まっています

あやかりたいものです

赤池町で一番の長寿の方は、上野常福にお住いの、皆川ヨ子さん。  
明治二十六年生まれの(写真左)九十八歳。テレビを見ることが大好きだという皆川さんの気に入りは「時代劇」と「相撲」

九月十五日の敬老の日に、表敬訪問の日野町長に、昔の赤池町の事など熱心に話してくれました。体に悪い所などどこもなく、赤池町で一番と言わず、日本でも一番になって欲しいものです。私たちも、あやかりたいものです。

一足お先に9月11日天郷荘で行われた「敬老会」

# 平成2年度一般会計予算(48億9,665万円)

**歳**

繰上充用金  
その他  
352,143千円

7.2%

諸支出金  
19,234千円

0.4%

公債費  
855,838千円

17.5%

**予**

<p><b>議会費</b></p> <p>77,639千円 1.6%</p> 	<p><b>総務費</b></p> <p>638,049千円 13.0%</p> 	
<p>平成2年度歳入予算の内訳</p> <p>財産収入 5,829万円 (1.2%)</p> <p>地方譲与税 自動車取得税交付金など 10,424万円 (2.1%)</p> <p>町税 3億6,376万円 (7.4%)</p> <p>諸収入 4億7,488万円 (9.7%)</p> <p>町債 (5.5%)</p> <p>県支出金 4億7,468万円</p> <p>町債 (5.5%)</p> <p>2億7,100万円</p> <p>地方交付税 23億1,429万円 (47.3%)</p> <p>国庫支出金 6億2,454万円 (12.8%)</p>		
<p>★項目別歳出予算の概要★</p> <p>■議会費 みなさんが選んだ議員さんの活動に要するお金です。報酬、調査研究費、議員共済掛金、議長会などの負担金などに使われます。</p> <p>■総務費 庁舎内の一般管理、交通安全対策費、公有財産管理費、住民基本台帳などの窓口業務、徴税費、選挙関係費用などに使われます。</p> <p>■民生費 みなさんの福祉に関する経費に使われます。児童福祉や老人医療、国民年金事務費や隣保館運営費、産炭地振興の活動助成金などに使われます。</p> <p>■衛生費 きれいな環境づくりとみなさんの健康づくりの経費に使われます。赤ちゃん検診、ガン検診、田川地区伝染病組合、斎場組合などの負担金、し尿処理などの清掃費に使われます。</p> <p>■労働費 失業対策事業等に使われるお金です。雇用対策と同時に地域に密着した町づくりに大きな役割を果たしています。開就事業では、赤池工場団地の整備など、特開事業では道路の舗装工事などが行われます。</p> <p>■農林水産業費 農林、水産業の振興経費に使われます。かんがい施設の維持経費や農道、溜池、水路等の補修工事、ほかに国土調査費、農業委員会経費などです。</p> <p>■商工費 商工業の振興や観光事業に使われるお金です。町内の街灯電気代、商工会助成金などの経費です。</p> <p>■土木費 道路の維持補修のほか改良工事や町営住宅の維持、管理などに使われます。</p> <p>■消防費 みなさんの安全を守る経費に使われます。消防団員の報酬、防犯灯の設置、田川地区消防組合の負担金などに支出されます。</p> <p>■教育費 3校の運営費や青少年、子ども会活動などの経費、公民館活動や各種スポーツ大会の経費ならびに総合グラウンドや体育館などの運動施設の維持管理費などに充てられます。昨年度に引き続き中学校校舎の改造工事が行われます。</p> <p>■公債費 いろいろな事業をするために、大蔵省や郵政省などから借りたお金の元金、利子の償還に使われます。赤池町は大変高い公債費比率となっており、町財政を圧迫しています。</p> <p>■諸支出金 開発公社に対する利子補給金です。</p> <p>■繰上充用金 前年度の歳入不足に充てたお金です。</p>		
<p><b>災害復旧費</b></p> <p>148,023千円 3.0%</p> 	<p><b>教育費</b></p> <p>454,621千円 9.3%</p> 	

**出**

(単位: 千円、% は全体に占める割合)

労働費  
766,687千円

15.6%

農林水産業費  
220,705千円

4.5%

商工費  
49,378千円

1.0%

**算**

**民生費**

748,200千円 15.3%



**衛生費**

765,841千円 4.5%



**出**

(単位: 千円、% は全体に占める割合)

労働費  
766,687千円

15.6%

農林水産業費  
220,705千円

4.5%

商工費  
49,378千円

1.0%

**算**

## 万2千円)決まる 前年比14.6%増

地方自治法219条2項の規定により平成2年度予算の概要を公表する  
赤池町長 日野喜美男

★地方債(借り入れ金)の現在高 (単位: 千円)

区分	元年度末現在高	63年度末現在高
一般公共事業債	850,607	954,245
一般単独事業債	3,068	18,091
公営住宅建設事業債	370,543	408,388
義務教育施設整備事業債	104,248	119,192
災害復旧債	33,218	44,746
厚生福祉施設整備事業債	17,384	21,141
過疎対策事業債	350,499	354,685
地域改善対策事業債	1,770,948	2,163,791
財源対策債	501,152	552,552
県貸付金	950,671	1,032,210
一般廃棄物処理事業債	29,148	30,770
調整債	283,424	234,600
臨時財政特例債	203,530	203,800
計	5,468,440	6,138,211

★職員平均給料月額と平均年齢 (特別会計職員を除く)

区分	行政職	労務職
平成2年 4月1日現在	平均給料月額円 272,100	225,600
	平均給与月額円 315,100	243,400
	平均年齢歳 41.9	41.7
平成元年 4月1日現在	平均給料月額円 260,600	218,600
	平均給与月額円 289,100	237,600
	平均年齢歳 41.2	42.3

本年度一般会計当初予算が9月定例町議会で可決されました。ご承知のとおり3月定例町議会においては義務的な経常経費を中心に6ヶ月間の暫定予算を編成し、最小限度の予算執行に努力を致しました。今回の当初予算の編成では町税をはじめ普通交付税等の歳入財源の適格な把握と歳出予算の施策にわたり再検討を行い実施可能なものを主として取り上げて編成しています。

本町の予算編成方針は依然として累積した多額の借金を抱えており財政構造の健全化をはかることが最重要とされ、従来以上に経費の節減と分配に徹した財政運営を行うことを基本としています。

予算総額は48億9,665円で対前年度増率14.6%増。歳入では地方交付税、国、県支出金などの依存財源が77.3%を占めています。歳出では人件費や扶助費、公債費などの義務的経費が40.4%、特に地方債の元利償還に支出される公債費は17.5%と高い数値になっています。

このような厳しい財政環境を十分認識し、従来以上に更に経費の徹底した節減を行い、歳出規模を厳しく抑制し、全体収支のバランスをみながら限られた財源の中で財政健全計画にそった予算執行を行います。

**消防費** 90,087千円 1.8%

**土木費** 257,915千円 5.3%

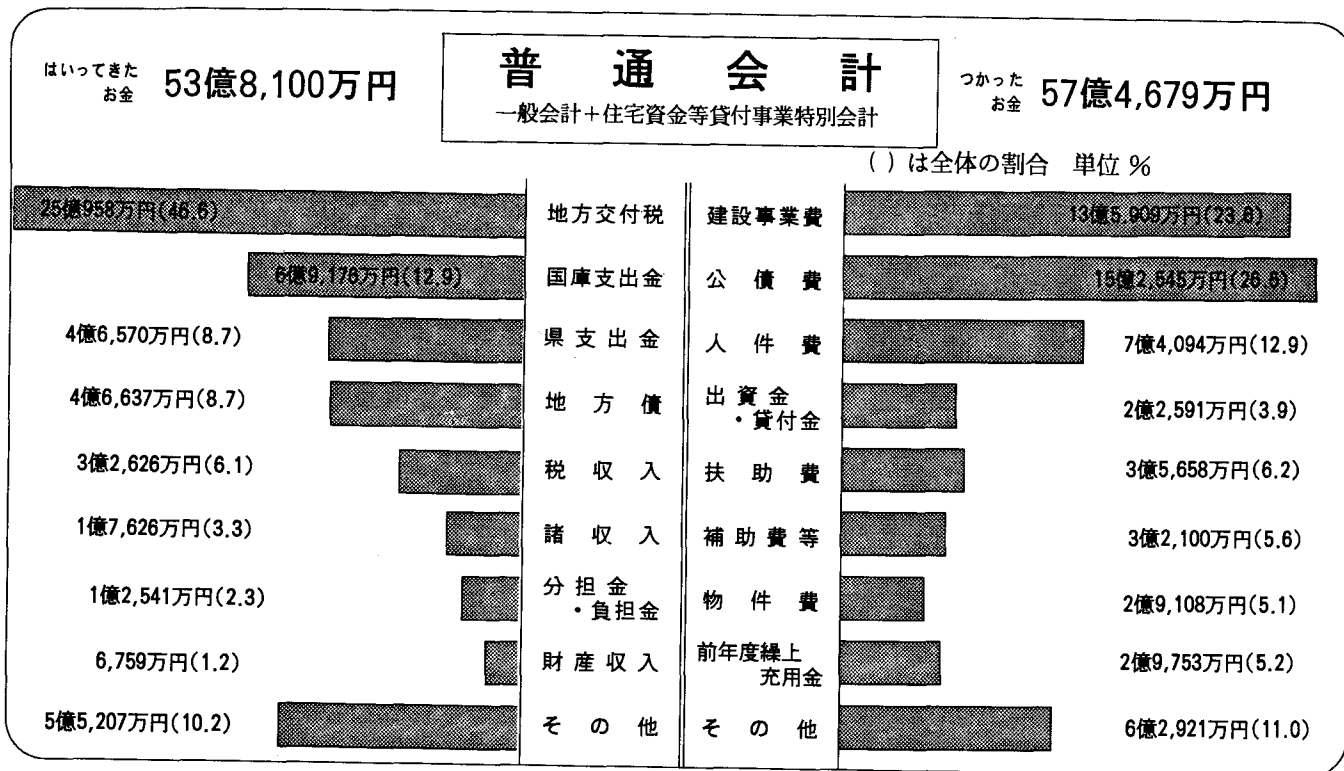
薬と健康の週間-23日(厚生省)

# 平成元年度決算状況

## 普通会計：赤字額 4億170万円

(繰越額含む)

※普通会計の表については決算統計から掲載しました。



表のとおりです。

### 補正予算

◎平成二年度赤池町立病院事業特別会計補正予算↓町立病院二階病棟の空調設備工事として、一千六百十万円を補正しました。

### 条例の改正

◎赤池町工場誘致条例の一部を改正する条例の制定↓赤池町に積極的に工場を誘致し、産業の振興と雇用の増大を図るため条例の一部を改正したものです。

### 計 画

◎赤池町過疎地域活性化計画↓平成二年度より前期五カ年の過疎地域活性化計画を定めたものです。

### 報告・請願・陳情

◎平成元年度定例事務監査の結果報告↓五月二十四日から六月十九日まで行われた、赤池町行政事務監査の結果が報告されました。

◎赤池町地集会所増築に関する請願↓産建委員会に付託

◎赤池町における私立幼稚園就園奨励費補助に関する請願↓総務委員会に付託

◎公立学校事務職員、同栄養職員給与費の国庫負担堅持および義務教育諸学校の教職員定数改善計画の目標年次完了を求める意見書提出に関する請願

◎一〇四有理化撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

◎コメ輸入自由化に反対する意見

書の提出を求める陳情書

以上の請願、陳情書については採択の上、関係各庁に意見書を提出しました。

### 一 般 質 問

○当町はどのような調査対象となると思われる、同和地区生活実態調査について

○被差別体験の調査を過去、戦前と、どこまでさかのぼって行うのか

○収入、病気、障害の程度、子育ての悩みから環境まで、プライバシーがどこまで守れるのか

○全町に同和地区出身者が生活している現在において、その実態をどこまで把握できるのか

○、真の同和教育を阻害するおそれのある、同和教育実態調査の中止を県に要請してはどうか。

○当町が対象（調査）に入っていないからといって、対岸の火事として見てよいのか

○子供の権利条約の精神を教育行政に生かすべきでないか

○当町の小・中学校の校則（罰則）はどうか

○同和問題の根本的な解決をはかるため実態を把握し、今後の同和对策推進上の必要な資料として、県からの依頼が

ありました。内容については、大きな問題として婚姻の事があり、本人や、親族の子に差別的な体験が無かったかどうか。時期については、戦前、戦中、現在までも含めて答えていただく様になっています。プライバシーの問題については、調査された資料については封筒に入れ厳重に封をして、県からの指示があるまで開封してはならないと、調査員に厳しく指導しています。又、調査したもの廃棄についても速やかに焼却するなどの体制の中で、調査は行われています。

同和問題の早期解決にむけて、その資料が生かされるでしょうか。調査の項目については、色々と指摘したい事もあります。県の段階ですでに決定したことであり、過去の血の滲むような体験を抽出という方法により、全体的とはいえないまでも、把握できればと考えています。

校則等の問題については、大変難しいものだと思います。現在の校則がきびすぎるといふ学校もあり、この程度なら子供を指導していく上で当然あるべきものではないかというものもあり、いかに校則の全を見直すという事にはならないと思えますし、これからの検討を重ねていきたい

## 議会だより

平成二年度第十回九月定例町議会が、九月十三日から二十一までの九日間の会期で行われました。

平成二年度の一般会計予算、平成元年度の一般会計、国民健康保険事業や町立病院事業などの特別会計の決算、工場誘致条例の改正などの議案が審議され、いずれも原案どおりに可決されました。

開会初日の十三日、町制二期目のスタート後、初めての定例町議会ということで日野町長は所信を「財政状況は赤字再建ライン上にあり、非常に深刻な事態を迎えています。しかし、この様な財政状態であっても町民の方への福祉向上を目的とする数多くの施策を中断させることはできません。当面している諸問題については、できるものから一つ、ひとつ、その歩みを進め、気くばりの行き届いた行政を確立していきたいと考えています。

赤池町を愛する心に限りはありません。愛郷無限、この気持を忘れることなく、より良い赤池町を作り上げるため努力をつみ重ねていきます」と表明しました。

このほか、請願、陳情、一般質問など多数の事項を審議して終了しました。

概要は次のとおりです

予 算

- ◎平成二年度赤池町一般予算 2・3ページに掲載しています。
- ◎平成元年度赤池町一般会計歳入歳出決算
- ◎平成元年度赤池町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- ◎平成元年度赤池町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- ◎平成元年度赤池町老人保健特別会計歳入歳出決算
- ◎平成元年度赤池町立病院事業特別会計歳入歳出決算
- ◎平成元年度赤池町上水道事業特別会計歳入歳出決算

以上六つの決算については、別表

平成元年度各特別会計の決算状況 (単位:千円)

区 分	歳 入	歳 出	差引額	累積額
町立病院事業	718,041	760,227	△42,186	△510,385
国民健康保険事業	584,349	626,816	△42,467	
上水道事業	204,613	202,502	1,047 (消費税除く)	△324,965
住宅新築資金貸付事業	395,936	450,646	△54,710	
老人保健事業	758,282	759,866	△1,584	

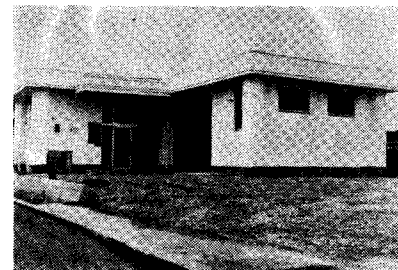
追 加 議 案

◎専決処分承認↓平成元年度繰越明許費にかかる起債の借入れ利率が引き上げられたことにより、一般会計の地方債予算を、三月三十一日付で専決処分しましたのでこれを議会に報告、承認を得ました。

◎工事請負契約の変更↓平成二年度特定地域開発就労事業で実施した。

民生委員さんが変わりました

北町一、三、新町、東町、松本、二、上校、花園、中央台の担当していた、民生委員の木村美子さんが、柴田司郎さんになりました。



◆お役に立っています  
簡易保険・郵便年金

1支所 集会所建設費  
2,293万円のうち、1,900万円はみなさんが加入している簡易保険や郵便年金の積立金の一部が融資され、豊かな町づくりのために活用されています。